

平成16年度 定期作況報告

(6月20日現在)

北海道立中央農業試験場

水稻の部

水田農業科 (岩見沢市)

気象概況

5月下旬：平均気温は平年より0.1 低く、日照時間は平年の105%、降水量は平年の161%であった。

6月上旬：平均気温は平年より1.8 高く、日照時間は平年の124%、降水量は平年の56%であり、高温、多照に経過した。

6月中旬：平均気温は平年より1.1 高く、日照時間は平年の121%、降水量は平年の60%であり、高温、多照に経過した。

以上、1ヶ月を通じ気温は平年より0.9 高く、降水量は平年並で、日照時間は平年より30時間長く、高温で多照に経過した。

5月下旬～6月中旬気象表

項目	5月下旬			6月上旬			6月中旬			平均(合計)		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
最高気温()	18.6	19.2	0.6	21.3	18.6	2.7	23.0	21.4	1.6	21.0	19.7	1.2
最低気温()	9.7	9.3	0.4	10.4	9.5	0.9	12.6	12.1	0.5	10.9	10.3	0.6
平均気温()	14.1	14.2	0.1	15.9	14.1	1.8	17.8	16.7	1.1	15.9	15.0	0.9
降水量(mm)	48.0	29.7	18.3	11.0	19.6	8.6	13.5	22.6	9.1	72.5	71.9	0.6
日照時間(hr)	66.3	63.4	2.9	74.6	60.4	14.2	77.6	64.0	13.6	218.5	187.8	30.7

注) データは「アメダス岩見沢」を使用。平年値は平成6年～15年10ヶ年平均値を農試が算出し使用。最高、最低、平均気温は期間内の平均値、降水量、日照時間は期間内の積算値を用いた。

作 況

水稻 作況：良

事由：移植後の活着は順調であった。6月20日における草丈はきらら397で平年比92%、ほしのゆめで94%と平年を下回ったものの、茎数はきらら397は平年比147%、ほしのゆめは155%と平年を大幅に上回った。また主稈葉数は平年に比べ両品種ともに0.6葉上回っている。以上により、現在の作況は良である。

品種名	播種期(月.日)			移植期(月.日)		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較
きらら397	4.19	4.20	1	5.21	5.21	0
ほしのゆめ	4.19	4.20	1	5.21	5.21	0

品種名	草丈(cm)			茎数(本/m ²)			主稈葉数(枚)		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
きらら397	21.5	23.3	1.8	396	270	126	7.4	6.8	0.6
ほしのゆめ	23.3	24.9	1.6	398	256	142	6.9	6.3	0.6

注1) 平年値は前7ヶ年中、平成10年(最豊)、15年(最凶)を除く5ヶ年平均

注2) 平成14年より従来の泥炭土圃場から奨励品種決定調査圃場であるグライ土圃場に移動した。

注3) 耕種概要

土 壤 細粒グライ土
 施 肥 高度化成472全層施肥 N - P₂O₅ - K₂O=8.0-9.7-6.9 kg/10a 堆肥1.5t/10a
 播 種 量 中苗紙筒 = 180cc/箱
 栽 植 密 度 30 × 13.3cm 25株/m² 4本植え
 移 植 方 法 手植え
 反 復 :2

畑作の部

畑作科 (長沼町)

気象概況

5月下旬：気温はほぼ平年並であった。降水日数は少なかったが、降水量はやや多かった。日照時間はやや少なかった。

6月上旬：気温は最高気温が高かったことから、平均気温も高かった。降水量はやや少なかった。日照時間はやや多かった。

6月中旬：気温は旬後半が高く推移したことから、平均気温はやや高かった。降水量はほぼ平年並で、日照時間はやや多かった。

以上、1ヶ月を通じて気温はやや高く、降水量は平年並で、日照時間はやや多かった。

5月下旬～6月中旬気象表

項目	5月下旬			6月上旬			6月中旬			平均(合計)		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
平均気温(℃)	13.3	13.2	0.1	15.4	13.5	1.9	17.2	15.6	1.6	15.3	14.1	1.2
最高気温(℃)	17.7	18.0	0.3	20.8	18.0	2.8	22.3	20.2	2.1	20.3	18.7	1.6
最低気温(℃)	9.3	9.1	0.2	10.6	9.8	0.8	13.0	12.1	0.9	11.0	10.3	0.7
降水量(mm)	39.0	30.2	8.8	13.5	23.5	10.0	16.0	13.6	2.4	68.5	67.3	1.2
降水日数(日)	3.0	4.2	1.2	2.0	3.6	1.6	1.0	1.9	0.9	6.0	9.7	3.7
日照時間(hr)	42.6	50.2	7.6	60.7	51.0	9.7	60.1	48.6	11.5	163.4	149.8	13.6

注1) データは「アメダス長沼」を使用。平年値は平成6年～15年の確定値を10年間農試で平均し、本年値は平成16年の速報値を用いた。

注2) 最高、最低、平均気温は期間内の平均値、降水量、降水日数、日照時間は期間内の積算値を用いた。

作況

1. 秋まき小麦 作況：やや良

事由：5月下旬は平年並の気温で、降雨がやや多かった。その後、6月上旬以降気温が高く推移したことから草丈は平年並、茎数は「ホロシリコムギ」では多く、「ホクシン」ではやや多かった。しかし、出穂期は平年に比べ2～3日遅れた。

以上により、現在の作況はやや良である。

品種名	出穂期(月.日)			草丈(cm)			茎数(本/m ²)		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
ホロシリコムギ	6.08	6.06	2	104	102	2	790	579	211
ホクシン	6.05	6.02	3	93	94	1	753	655	98

注)平年値は前7か年中、平成9年(最凶)、15年(最豊)を除く5か年平均(各収穫年度)。

2. 春まき小麦 作況：良

事由：播種が早かったことから、生育は進んでおり、出穂期は平年より2日早い6月20日となった。葉先の枯れが多発しているが、栄養生長期間が平年より4日長かったことから、生育は旺盛で、草丈は平年より高く、茎数は平年比116%と多い。

以上により、現在の作況は良である。

品種名	出穂期(月.日)			草丈(cm)			茎数(本/m ²)		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
ハルユタカ	6.20	6.22	2	86	68	18	759	654	105

注)平年値は前7か年中、平成8年(最凶)、14年(最豊)を除く5か年平均。

3. 大豆 作況：やや良

事由：播種期は平年並の5月20日であった。播種前後の適度な降雨により、出芽期は平年より3日早かった。出芽後、気温は高く、日照時間も多めに経過したため、生育は順調で、主茎長は平年より長く、主茎節数は平年より多かった。

以上により、現在の作況はやや良である。

品種名	播種期(月.日)			出芽期(月.日)			主茎長(cm)			主茎節数(節)		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
ツルムスメ	5.20	5.20	0	5.30	6.02	3	12.7	10.2	2.5	4.4	3.5	0.9
ユウヅル	5.20	5.20	0	5.30	6.02	3	13.1	10.0	3.1	4.3	3.4	0.9
トムスメ(参考)	5.20	5.20	0	5.30	5.31	1	15.8	11.6	4.2	3.6	3.3	0.3
スズマル(参考)	5.20	5.20	0	5.30	5.29	1	11.6	9.3	2.3	4.3	3.8	0.5

注)平年値は前7か年中、平成12年(最豊)、14年(最凶)を除く5か年平均。

ただし、トムスメ、スズマルは、前3か年の平均を平年値とし参考で示す。

4. 小豆 作況：やや良

事由：播種期は平年に比べ4日遅い5月26日であった。播種前後、降水があり、気温も平年並～高く推移したことから出芽期は平年に比べ3日早くなった。出芽後は高温に経過し、主茎長は平年並であったが、主茎節数はやや多かった。

以上により、現在の作況はやや良である。

品種名	播種期(月.日)			出芽期(月.日)			主茎長(cm)			主茎節数(節)		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
エリシヨウズ	5.26	5.22	4	6.07	6.10	3	4.7	4.6	0.1	2.2	1.5	0.7

注)平年値は前7か年中、平成12年(最凶)、15年(最豊)を除く5か年平均。

5. ばれいしょ 作況：やや良

事由：萌芽期は5月24日で、ほぼ平年並であった。萌芽後、気温が高く、日照時間も多かったことから、茎長は平年比106%、茎数は同108%と平年をやや上回った。

以上により、現在の作況はやや良である。

品種名	萌芽期(月.日)			茎長(cm)			茎数(本/株)		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
男爵薯	5.24	5.25	1	34	32	2	5.2	4.8	0.4

注)平年値は前7か年中、平成11年(最凶)、13年(最豊)を除く5か年平均。

6. てんさい 作況：良

事由：5月下旬以降、気温がやや高く、日照時間も多かったことから、草丈は平年比127%、葉数は同147%で、平年値を大きく上回った。

以上により、現在の作況は良である。

栽培法	品種名	草丈(cm)			葉数(枚)		
		本年	平年	比較	本年	平年	比較
移植	モノホマレ	35.9	28.2	7.7	16.2	11.0	5.2

注)平年値は前7か年中、平成12年(最凶)、15年(最豊)を除く5か年平均。

7. 中央農試作況報告について

平成13年度より、すべての作物で土壌物理性・排水性が改良された基盤整備後の圃場を使用している。

当報告は、中央農業試験場のほ場において行った生育調査について、調査時点における値を中央農業試験場の平年値と比較したものであり、当該管内の作況を代表するものではありません。